

# 知っていますか？ 雨水と汚水は違うところを流れています！

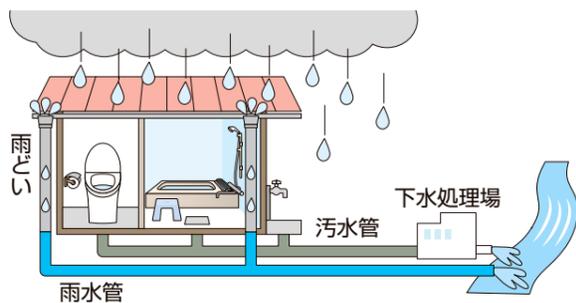
大津市の多くの地域では、雨水と汚水（台所やトイレなどで使用した水）を別々に流しています。※1

雨水はそのまま琵琶湖に戻り、汚水は下水道処理施設を経由し、水をきれいにして琵琶湖に還しています。

ところが、汚水だけを流す下水道管に雨水が流れ込むと、下水道管の中が雨水でいっぱいになり、ご家庭内の汚水マスや道路のマンホールなどからあふれてしまいます。

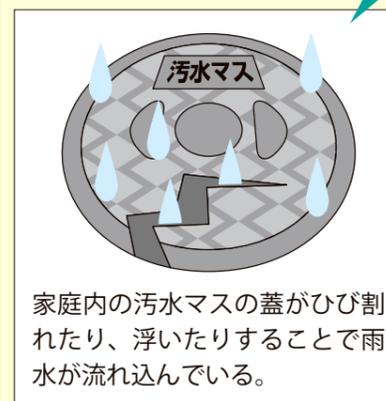
近くでこのようなことが起きると、トイレやお風呂を使えなくなってしまうことがあります！

※1 下水道には分流式と合流式があります。詳しくはホームページをご覧ください。➡



## 👉 雨水が汚水管に流れていないか確認をお願いします！

### 汚水が流れる下水道管に雨水が流れ込む原因



宅内排水設備（個人管理）に関するお問い合わせ先

お客様設備課 ☎077-528-2605

市管理の公共汚水マス・道路上のマンホールに関するお問い合わせ先

下水道施設課 ☎077-528-2764



令和3年7月15日～8月31日まで募集していた、水道水イメージアップデザインですが、4点の応募がありました。

選考委員会を開き、厳正なる審査により、杉山浩さんの作品が、優秀賞に決定しました。

デザインは、ドライミスト発生機へのラッピングなどに使用させていただきます。

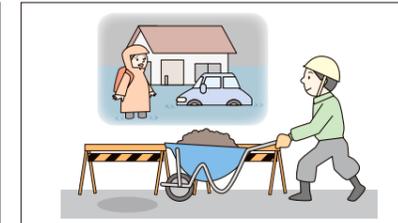
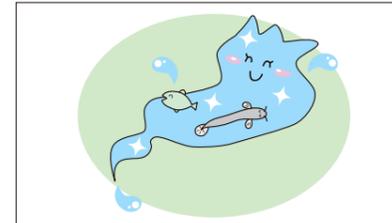
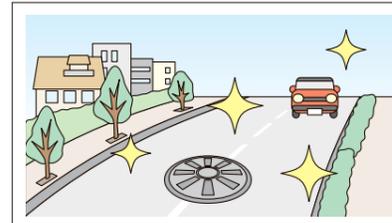
### 杉山さん作品のコンセプト

- 水道水を蛇口から出てくる水滴で表現しました。
- きれいな水をあらわすために笑顔と山や自然に育まれた水を組み合わせました。



# ご存じですか？ 家庭で取り組める豪雨対策

普段目にする事のない下水道ですが、見えないところで私たちの安全・安心で快適な生活を支えています。下水道の役割は、「まちを清潔にする」「環境（琵琶湖）を守る」「まちを浸水から守る」ことです。



近年の集中豪雨の多発や田んぼ等の空き地が宅地になることにより、都市型浸水被害が発生しています。このような浸水の被害を少なくするため、市民センターや学校などの公共施設において、雨水をよりスムーズに地中へ浸透させるための浸透施設や、雨水をためることにより地表面への流出抑制を図るためタンクの設置をすすめました。

## 👉 雨水タンクの設置や浸透施設の効果

- ✓ 雨水の有効活用 タンクにためた雨水は畑や花壇の水やりに使用できます。また、災害時の一時水源としても使えます。
- ✓ 治水上の雨水対策 雨水を地中に戻すことで、洪水や浸水を防ぐ効果があります。



左：富士見支所  
右：平野支所

## 雨水タンクの設置や浸透施設は個人宅でも設置することができます

たくさんの方が雨水タンクを設置し、雨水をためることで、まちの中に小さなダムがたくさんでき、大雨の時の浸水被害を少しでも減らすことができます。

小さな雨水タンクでも、集まれば大きな効果を生み出すことができます！（大雨が降る前にはタンクを空にしておくことが大事です！）

## 👉 タンクや浸透施設の設置には補助金があります

- ✓ 補助金の交付前に、タンクの購入や浸透施設の設置工事などを行うと対象になりません。必ず、申請を先に行ってください！
- ✓ 対象区域内であることが条件となっております。そのほか上限額など、詳しくは申請前にホームページをご覧ください。
- ✓ 1建築物につき、申請回数は1回までです。

今年度の  
申請期間もあと  
わずかです！



補助金に関するお問い合わせ 下水道施設課 ☎077-528-2765



## 下水道では浸水対策として水路の整備もおこなっています

浸水対策として整備している水路とは、雨水のみを通す排水路（雨水渠という）です。

10年に一度の大雨に対して浸水被害が発生しないよう、緊急度の高い区域から整備を進めており、整備が必要な43河川のうち、25河川の整備が完了しています（令和2年度末時点）。

### 【降雨による河川氾濫時と改修後の様子】

